

広島県告示第二百二十九号

家畜伝染病予防法（昭和二十六年法律第百六十六号）第五条第一項及び第六条第一項の規定によつて、検査及び注射を次のとおり実施する。  
 平成二十二年三月二十五日

広島県知事 湯 崎 英 彦

<p>区分</p>	<p>実施の目的</p>	<p>実施する区域</p>	<p>実施の対象となる家畜の種類及び範囲</p>	<p>実施の期日</p>	<p>検査注射の別及びその方法</p>
<p>結核病及びブルセラ病</p>	<p>牛、めん羊、山羊及び豚の結核病及びブルセラ病撲滅のため</p>	<p>県下全域</p>	<p>実施する区域内で飼育されている次の各号に該当する牛、めん羊、山羊及び豚であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの                  一 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育されている生後三か月以上のもの                  二 種付の用に供し、又は供する目的で飼育されている生後三か月以上のもの                  三 前二号の牛と同一施設内で飼育しているもの                  四 その他必要と認められるもの</p>	<p>平成二十二年四月一日から平成二十三年三月三十一日まで</p>	<p>一 結核病検査                  1 臨床検査                  2 ツベルクリン反応ただし、皮内注射法                  二 ブルセラ病検査                  1 急速凝集反応                  2 試験管凝集反応                  3 補体結合反応</p>
<p>馬伝染性貧血</p>	<p>馬伝染性貧血撲滅のため</p>	<p>県下全域</p>	<p>実施する区域内で飼育されている競馬法（昭和二十三年法律第百五十八号）による競馬に出場する馬及び乗用馬であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの</p>	<p>同右</p>	<p>一 臨床検査                  二 寒天ゲル内沈降反応検査</p>
<p>高病原性鳥インフルエンザ</p>	<p>高病原性鳥インフルエンザ発生予防のため</p>	<p>県下全域</p>	<p>実施する区域内で飼育されている鶏であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの</p>	<p>同右</p>	<p>一 ウイルス分離                  二 血清抗体検査（寒天ゲル内沈降反応）</p>

牛伝染性鼻気管炎	腐そ病	家きんサルモネラ感染症	牛海綿状脳症	ヨーネ病
牛伝染性鼻気管炎の発生予防のため	腐そ病撲滅のため	家きんサルモネラ感染症（ひな白痢）の撲滅のため	牛海綿状脳症の摘発及び清浄性の確認のため	ヨーネ病撲滅のため
県下全域（ただし、社団法人広島県家畜畜産物衛生指導協会が自主的防疫措置により実施する区域を除く。）	県下全域	県下全域	県下全域	県下全域
実施する区域内で飼育されている牛であって、家畜保健衛生所長の指定するもの	実施する区域内で飼育されている牛であって、家畜保健衛生所の指定するもの	実施する区域内で飼育されている種類の	実施する区域内で飼育されている次の各号に該当する牛であって、家畜保健衛生所長の指定するもの 一 牛海綿状脳症対策特別措置法（平成十四年法律第七十号）第六条第一項で届出のあった満二十四か月齢以上（推定を含む）の死体。ただし、同条第二項のただし書きに該当する場合を除く。 二 その他、検査を必要と認める死体	実施する区域内で飼育されている次の各号に該当する牛であって、家畜保健衛生所長の指定するもの 一 搾乳の用に供し、又は供する目的で飼育されている雌牛で生後六か月以上のもの 二 種付の用に供し、又は供する目的で飼育されている生後六か月以上の雄牛 三 前二号の牛と同一施設内で飼育している牛 四 その他必要と認められるもの
同右	同右	同右	同右	同右
筋肉内注射	一 肉眼的検査 二 細菌学的検査	急速凝集反応検査	酵素抗体法（エライザ法）	一 臨床検査 二 細菌検査 三 ヨーニン検査 四 補体結合反応 五 酵素免疫測定法（エライザ法） 六 予備的抗体検出法（以下「スクリーニング法」という。）

炭疽	炭疽の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	皮下注射
牛流行熱	牛流行熱の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	筋肉内注射
オーエスキ―病	オーエスキ―病の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている豚であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	一 臨床検査 二 ラテックス凝集反応検査 三 酵素免疫測定法（エライザ法） 四 中和試験
馬インフルエンザ	馬インフルエンザの発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている馬であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	一 臨床検査 二 抗原検出検査 三 PCR検査
イバラキ病	イバラキ病の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
牛流行熱	牛流行熱の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
ブルータンク	ブルータンクの発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
アカバネ病	アカバネ病の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
チュウザン病	チュウザン病の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
アインウイルス感染症	アインウイルス感染症の発生予防のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
トリコモナス病	トリコモナス病撲滅のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	病原学的検査

カンピロバクター病	カンピロバクター病の撲滅のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	一 蛍光抗体法 二 細菌学的検査
伝染性胃腸炎	伝染性胃腸炎の発生予察のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている豚であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
流行性脳炎	流行性脳炎の発生予察のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている豚であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
豚繁殖・呼吸障害症候群	豚繁殖・呼吸障害症候群の発生予察のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている豚であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	一 血清学的検査 二 PCR検査
豚流行性下痢	豚流行性下痢の発生予察のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている豚であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	血清学的検査
牛白血病	牛白血病の撲滅のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている牛であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	一 寒天ゲル内沈降反応検査 二 間接赤血球凝集反応 三 酵素免疫測定法(エライザ法)
伝達性海綿状脳症(めん羊、山羊)	感染めん羊、山羊の摘発及び清浄性の確認のため	県下全域	実施する区域内で飼育されているめん羊、山羊であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	一 ウエスタンロット法 二 免疫組織化学的検査
豚コレラ	豚コレラの清浄性確認のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている豚であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	一 中和試験 二 酵素免疫測定法(エライザ法)
ウエストナイルウイルス感染症	ウエストナイルウイルス感染症の清浄性の確認のため	県下全域	実施する区域内で飼育されている家畜の農場であつて、家畜保健衛生所長の指定するもの	同右	PCR検査